

明治大学研究成果活用促進センター 2021年度活動報告

事業概要

「明治大学研究成果活用促進センター(旧・明治大学インキュベーションセンター)」は研究活用知財本部の下に設置され、本学の研究成果に基づく産官学連携の支援、及び研究成果を活用した起業支援を行っています。研究成果の活用を促進するためのスペースとして、駿河台キャンパスのグローバルフロント内に7室の施設を設置しています。

これまでにおよそ20のプロジェクトについて事業化が取り組まれ、10社あまりの会社設立の実績があり、現在も多様な入居者が積極的に活動しています。

活動報告公開にあたって

昨年に引き続き、本センターからの情報発信の一環として、利用者の活動について、みなさまに報告させていただきます。今後の本センター運営に関するご意見等をいただければ幸いです。引き続きご支援をよろしくお願いたします。なお、本活動報告については過去の分も含め、ウェブページで公開しております。

https://www.meiji.ac.jp/tlo/about_incubation_center.html または「研究成果活用促進センター」で検索してください。

新規利用者募集について

本センターでは、随時、新たな利用者を募集しております。本報告をご覧いただき、ご興味をお持ちいただきましたら、上記ウェブサイトをご確認のうえ、ぜひご応募ください。お待ちしております。

研究成果活用促進センター長 熊澤喜章(商学部 専任教授)

Contents

p.1	事業概要 活動報告公開にあたって 新規利用者募集について
p.2-3	利用者紹介 ・株式会社COCO・WA・DOCO ・株式会社EVISION ・株式会社グローバルガバナンス・センター
p.3	アクセスマップと問い合わせ先



(写真)明治大学駿河台キャンパスグローバルフロント本建物の7階が研究成果活用促進センター施設です。

ローカルエリアシステム研究所・株式会社COCO・WA・DOCO

利用代表者	ローカルエリアシステム研究所・株式会社COCO・WA・DOCO 代表取締役 半田正浩
利用責任者	明治大学 政治経済学部 専任教授 藤永修一
事業内容	IT関連事業

事業内容と活用促進している研究成果

ローカルエリアシステム研究所では、明治大学の学内システムであるOh-o!Meijiシステムのコンセプトである多対多の情報発信を自治体や商店街において実証し、さらにテキストベースのコミュニケーションだけでなく、映像や音声における情報配信の手法について研究活動を実施しました。それらの研究成果を株式会社COCO・WA・DOCOを通じて運用・販売し、安価にユーザにご利用いただけるよう活動を行っています。

2021年度の活動・成果

AI(人工知能)分野に注力し、ビッグデータを用いた経済分析システムの研究開発を行っています。AIが人とコミュニケーションをとる方法は様々ですが、ローカルエリアシステム研究所では、その中でも音声分野において、自治体・企業様から多くのお問合せをいただいております。

AIによる通信事業で大躍進！

株式会社EVISION

利用代表者	株式会社EVISION 代表取締役 奥秀太郎
利用責任者	明治大学 総合数理学部 専任教授 福地健太郎
事業内容	VR技術と立体映像技術、その舞台演出への応用

事業内容と活用促進している研究成果

遠赤外線カメラ画像のリアルタイム画像処理技術を舞台演出に応用し、能楽師の身体運動に応じてCG映像をリアルタイムに生成し舞台上に投影する応用研究を行っている。2021年度はこの技術を11月に能の新派、武楽座の観世能楽堂公演「神曲修羅六道」にて刀から粒子が飛ぶエフェクトとして、12月にも博多座で開催された「博多座神楽まつり」にて石見神楽の伝統的な演目「大蛇」の中で同様の演出効果を用いた。

2021年度の活動・成果

VR能攻殻機動隊はコロナ禍においての舞台公演の新しい取り組みとして本年度も東京での再演、札幌公演を成功させることができました。また新しく開発された無線LAN制御の蠟燭も演出に取り入れ、演出の幅を増やすことに成功しました。VR技術を使って伝統的なお能を演出したVR能の新作、神楽公演などいずれも大変反響が大きく、来年以降のオファーが増えております。

VR技術で攻殻機動隊の世界を実現する！！

株式会社グローバルガバナンス・センター

利用代表者 株式会社グローバルガバナンス・センター 代表取締役社長 市川宏雄
利用責任者 明治大学 ガバナンス研究科 専任教授 松浦正浩
事業内容 行政および民間のプロジェクトならびにコンサルタント業務及び調査・研究事業

事業内容と活用促進している研究成果

利用代表者の運営する組織の業務受注と実施に協力することで公共政策分野における多くの新たな知見の吸収と人的ネットワークの形成を行うことができた。2つの非営利組織では大都市東京の都心の計画と政策の現実を扱い、また、危機管理に関する研究では自然災害と現在大きなテーマとなっている感染症による社会リスクという2つの分野での組織リーダーのあり方を扱った。民間企業の業務では、現在、アフターコロナ、ポスト五輪における都市開発、住宅開発の実際の活動を扱った。

2021年度の活動・成果

非営利団体2社と民間企業3社からの業務を受託した。1つの機構では、危機管理のリーダー育成を目的とした講習、試験の実施。もう1つの機構では新型コロナ下での都市についての会員向けの講演会の実施、都知事・区長などの参加によるシンポジウムを5月に実施した。

また、オフィス分譲業の企業では不動産状況等の講演を全社員と顧客を対象に定期的に行い、住宅分譲業の企業では社内の研究所による研究成果の対外発信と講演、総合建設業の企業で今後の都市開発動向のコンサルタンツを行った。

社会では事業の具現化ができるプラットフォームが求められる

アクセスマップ



【最寄駅からのアクセス】

■JR中央線・総武線、東京メトロ丸の内線／御茶ノ水駅
下車徒歩3分

■東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅
下車徒歩5分

■都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線／神保町駅
下車徒歩5分

【住所】

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学 駿河台キャンパス グローバルフロント

【問い合わせ先】

研究推進部 研究知財事務室 TEL: 03-3296-4398 FAX: 03-3296-4283

E-mail: tlo@mics.meiji.ac.jp https://www.meiji.ac.jp/tlo/about_incubation_center.html